

小山市事務事業評価シート

令和3年度版

No. 10

1. 基本情報										3. Check - 評価 -													
<1> 事業・業務名		鳥獣被害対策事業				<2> 事業・業務の別		事業		実績評価		妥当性		<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か？		1. 妥当である		理由		猟友会小山支部有害駆除会への委託業務の他に現状では担当職員が担っている業務についても委託が可能か検討する。			
<3> 選定基準		② 事業の範囲や経費等について、市の裁量の余地がある事業				<4> 継続業務・新規業務の別		継続業務						<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か？		1. 妥当である							
<5> 総合計画基本計画での体系		大項目		4 暮らしやすく住み続けたい 地域の活力を生かしたまちづくり				<6> 担当部(局)		産業観光部		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか？		1. 増大している									
		中項目		4-2 みんなの暮らしを支える生活基盤整備				<7> 担当所属		農政課		<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か？		2. 検討を要する									
		小項目		4-2-2 農村整備				<8> 担当係等		鳥獣対策係		<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか？		1. 向上の余地はある									
		施策		総合的な農村環境の整備								<29> 総合計画基本計画施策への貢献度は大きいのか？		2. 中位									
<9> 根拠法令・計画等		小山市鳥獣被害防止計画				<10> 関連・類似事業				<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか？		1. 向上の余地はある											
<11> 会計		一般		会計		<12> 予算科目		6 款 1 項 3 目		<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か？		1. 検討可能である											
<13> 実施期間		年度 ~ 年度		<14> 全体事業費				千円		<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか？		1. 妥当である											
<15> 実施手法		一部委託		「その他」の場合 ()						<33> 総合評価		2. 改善の余地はある											
2. Do - 実施 -										4. Action - 改善 -													
<16> 事業・業務の概要		県、小山市猟友会、各地区対策協議会等と市が協力して、イノシシが生息しにくい環境整備や、捕獲事業を実施する。								事業の改善		<34> 事業の課題 事業の改善点		捕獲数は年々増えており、かつ目撃、被害情報も拡大しており有害駆除会の活動も今後より活発になると考えられるが、猟友会小山支部有害駆除会員が高齢化しており若手人材の確保が必要である。									
目的		<17> 事業・業務の目的 猟友会小山支部有害駆除会への業務委託により有害鳥獣の駆除を図る。																					
		<18> 事業・業務の対象 猟友会小山支部有害駆除会への業務委託																					
手段		<19> 令和2年度の活動内容 設置された箱わなの管理業務を猟友会小山支部有害駆除会に委託																					
<20> 活動指標 (活動した量や実績)		指標名		単位		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度											
						計画 実績		計画 実績		計画 計画		計画 計画											
		箱わな設置数		個		20 20		25 27		30 35													
成果		<21> 事業・業務の成果 わなの設置により農産物に被害を及ぼすイノシシ等の有害鳥獣の駆除を図る。								事業の方向性		<35> 1次評価		所属長		1. 拡大		理由 免許取得の助成などの支援などにより猟友会小山支部有害駆除会の新規の若手加入者を増やすことが必要である。					
<22> 成果指標 (活動の成果の量や実績)		指標名		単位		令和元年度		令和2年度				令和3年度		令和4年度		<36> 2次評価		所管部長		1. 拡大		理由 イノシシ捕獲数の増加に対応するため、今後とも地元自治会で組織される鳥獣対策協議会と猟友会小山支部有害駆除会が連携し、見回りの頻度を増やし、捕獲時の迅速な対応を図ることが必要である。	
		イノシシ捕獲頭数		頭		160 124		200 144		250 300													
資源		コスト実績		単位		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		事業の計画		<37> 実施計画・今後の方針		現行の小山有害鳥獣駆除隊及び各地区の鳥獣被害対策協議会を合わせた、捕獲、防護柵の設置等といった鳥獣被害対策の実践的活動を担う組織の立ち上げを検討する。					
				千円		計画(予算) 実績(決算)		計画(予算) 実績(決算)		計画(予算) 計画(予算)													
				事業費等		千円		450 450		400 360		400 400				<38> 活動・成果目標		鳥獣被害対策の実践的活動を担う組織の立ち上げにより、目撃数が増加するイノシシ等の有害鳥獣の効果的な駆除を図る。					
		財源内訳		国・県補助金		千円		225 225		200 180		200 200											
				地方債		千円																	
				その他		千円																	
		一般財源		千円		225 225		200 180		200 200													
		人件費		千円		7,108 7,108		7,132 7,132		7,132 7,132													
		正職員		千円 × 人役		7,108 × 1.0 7,108 × 1.0		7,132 × 1.0 7,132 × 1.0		7,132 × 1.0 7,132 × 1.0													
		他の職員		千円 × 人役		× ×		× ×		× ×													